

## 平成 30 年度 日本看護技術学会研究助成申請書 作成要項

1. 本申請書（様式 1）は、申請課題の採択の可否等を決定するための評価に使用されるものである。
2. 「申請者」について
  - ・氏名は自著又は記名押印すること。
3. 「1. 研究課題」について
  - ・研究の目的と成果がわかる課題名にすること。
4. 「2. 助成金額」について
  - ・助成金配分希望金額を記入すること（上限 30 万円）。但し、同じ研究課題で他の助成金を受けてはならない。
5. 「3. 研究期間」について
  - ・本事業で規定する期間内において、研究期間を定め記入すること。
6. 「4. 申請者（研究代表者）および研究組織」について
  - (1) 研究代表者は、氏名（ふりがな）、日本看護技術学会会員番号、所属機関名、所属部署名、職位／職名、連絡先を記入すること。
  - (2) 連絡先は、所属機関もしくは自宅のうち、該当するものに○印をつけ、当該地の郵便番号、住所、電話番号、ファックス番号を記入すること。
  - (3) 共同研究者は、氏名、日本看護技術学会会員番号、所属機関を記入すること。
  - (4) 研究代表者及び共同研究者の所属機関名は、正式名称を用いること。
7. 「5. 研究の目的、必要性および期待される成果」について
  - (1) 研究の目的、必要性については、これまでになされた研究で現在どこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのか等、研究課題との関連について明確に記入すること。
  - (2) 期待される成果については、当該研究によって直接得られる研究結果だけでなく、間接的に期待される看護技術の向上および看護実践への貢献等についても記入すること。
  - (3) 必要に応じて参考文献を示すこと。
8. 「6. 研究方法」について
  - ・研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を記入すること。
9. 「7. 倫理的配慮」について
  - (1) 研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解（インフォームドコンセント）に関わる状況などを記入すること。
  - (2) 倫理審査を受ける機関を記入すること。研究代表者の所属機関または研究実施を受け入れる機関の倫理審査委員会等での承認を得てから実施し、報告書には証明書のコピーを添付すること。
10. 「8. 研究に要する経費」について
  - (1) 当該研究課題に要する経費を記入すること。
  - (2) 本事業で認める経費の費目は、当該研究を実施するうえで必要な旅費交通費、人件費、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費とする。備品費は認めない。
11. その他
  - (1) 申請書は、A4 用紙を用い、Word で作成すること。
  - (2) 各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばしても差し支えない。
  - (3) 研究実施に伴う資料（質問紙や測定用具、同意書等）を添付すること。
  - (4) 記入漏れがある場合は、審査の対象としない場合があるので注意すること。